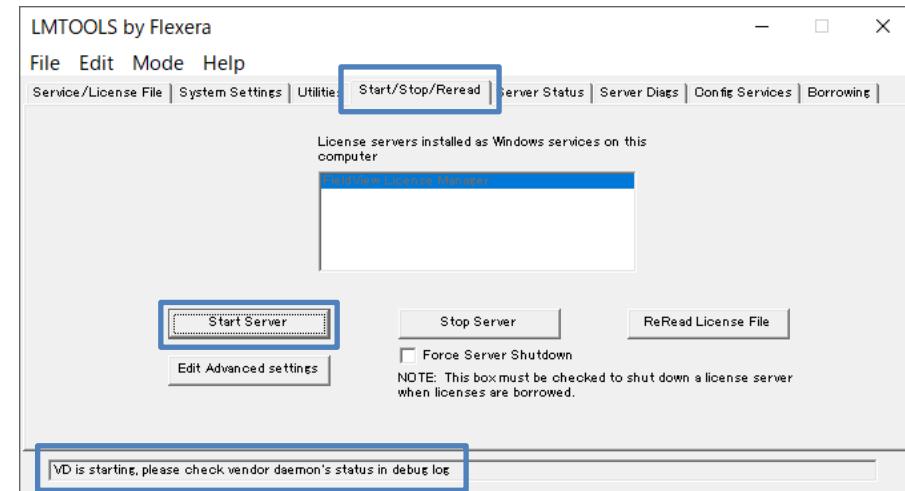


- エラーメッセージ

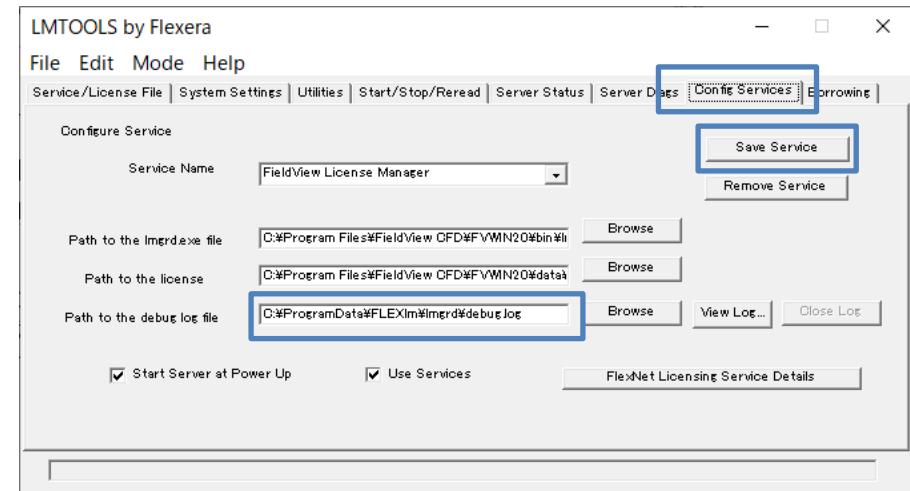
- LMTOOLS にてStart Serverからライセンスサーバーを起動する際、
ウインドウの下部に以下のメッセージが表示される場合があります。

VD is starting, please check vendor daemon's status in debug log

- 次ページより想定される原因とその対処方法
を解説します。
- 可能性が高い順に並べておりますので、
原因1から順番にお試しください。
- またインストレーションガイドに
記載のインストール手順や注意書きを
改めてご一読ください。



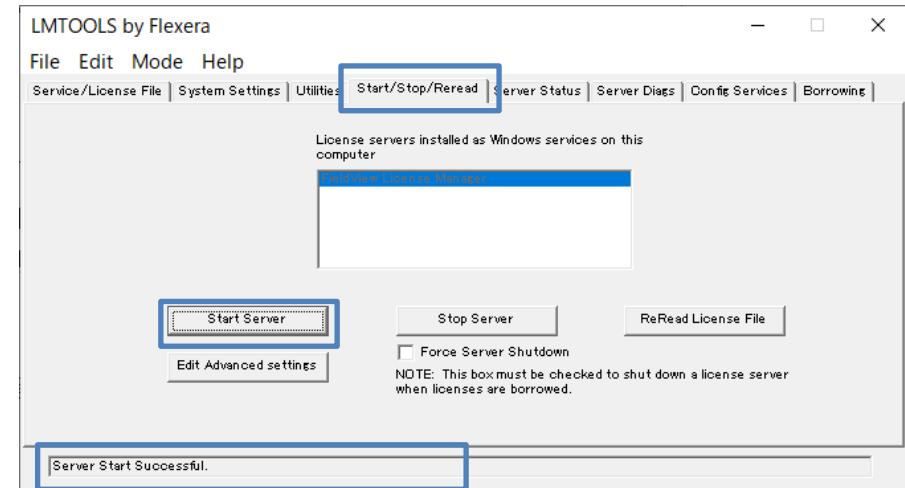
- 原因 1：ログファイルのフォルダ指定に誤りがある
- 対処方法
 - LMTOOLS ユーティリティにおいて、ログファイルの出力先を「C:¥ProgramData」の下に指定します。
例 C:¥ProgramData¥flexlm.log
C:¥ProgramData¥flexlm¥flexlm.log
 - Save Service を押して保存します。
- <注意>
C:¥ProgramData は隠しフォルダになっています。
OSのバージョンごとに隠しフォルダの表示は異なりますので、インターネット等でお調べ下さい。



- エラーの解消確認
 - Start/Stop/Reread で Start Server を実行し、下記のメッセージが表示されることを確認してください。

Server Start Successful

- 以降も対処方法を実施したら、
本ページのようにライセンスサービスが
起動するかお試しください。



- 原因 2 : ライセンスファイルの書式・内容に誤りがある
- 対処方法
 - ライセンスファイルは以下の通り書式が決まっています。下記の内容を確認し、修正をしてください。

```
1 SERVER server01 001122334455 7788
2 DAEMON ilight "C:\Program Files\FieldView CFD\FVWIN20\bin\ilight.exe"
3 INCREMENT pfv8 ilight 20.000 31-dec-2020 1 #####
4 VENDOR_STRING="fv every dg" SUPERSEDE ISSUED=5-dec-2014 #
5 SIGN="##### ##### ##### ##### ##### ##### ##### ##### ##### #
6 ##### ##### ##### #####"
```

- 1行目 : server01 =ライセンスサーバーのFLOAT SYSTEM NAME (ホスト名) ※IPアドレスの直接指定もお試しください。
001122334455=ライセンスサーバーのSERVER ID (MACアドレス)
- 2行目 : FieldViewのインストールフォルダの中の ilight.exe へのパス ※ダブルクオーテーションも確認してください。
- 3,4,5,6行目 : 「#」は削除してはいけません。
- 上記以外でよく誤りのある部分 : ① 1~6 行目の 改行を削除して、行を少なくしてしまう。
② 手入力すると、大文字小文字が混在してしまう。(コピー＆ペーストでの作成を推奨)
③ SERVER ID (MACアドレス) を誤った内容で申請してしまっている。(例 : bと6など)

- 原因 3 : ポート番号が他のアプリケーションと重複している

- 対処方法

1. SERVER行ではデフォルトで7788番を使用します。DAEMON行は空いているポートを自動配番しますが、下記の例のように PORT=7789 と固定のポート番号を割り当てることができます。

```
1 SERVER server01 001122334455 7788
2 DAEMON ilight "C:\Program Files\FieldView CFD\FVWIN20\bin\ilight.exe" PORT=7789
3 INCREMENT pfv8 ilight 20.000 31-dec-2020 1 #####
4 VENDOR_STRING="fv every dg" SUPERSEDE ISSUED=5-dec-2014 #
5 SIGN="#### #### #### #### #### #### #### #### #### #### #### #
6 #### #### #### ####"
```

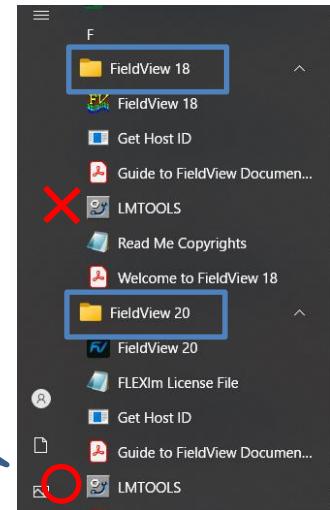
- 2つのポートの内どれかが、他のアプリケーションで使用するポート番号と重複している可能性があります。
3. コマンドプロンプト の netstat コマンドなどでサーバー上のポート番号の使用状況をお確かめの上、空いているポート番号をご指定ください。
基本的にSERVER行は固定の7788番をお願いしております。

- 原因 4 : 旧バージョンのFieldViewのライセンスサービスが稼働している

- 対処方法

- ライセンスマネージャ FLEXIm のバージョンが異なるFieldViewをインストールする場合、現在運用している旧バージョンの FieldViewのライセンスサービスを一旦停止してください。
- 次に新しいバージョンのFieldViewのLMTOOLSから、ライセンスサービスの設定をしてください。
 - ライセンスが対応していれば、最新のバージョンのLMTOOLSで、1つライセンスサービスの設定をするだけで複数のバージョンのFieldViewを使用できます。
※最新ライセンスの仕様は <https://www.vinas.com/request/fv/fvrequest-verup.html> に記載しています

新しいバージョンの
LMTOOLSを使用



ただしライセンスサーバに保管しているライセンスファイルを、クライアントマシンのすべてのバージョンの FieldViewのdataフォルダに格納しておく必要があります。

- <注意> 稀にLMTOOLSからライセンスサービスを停止できない場合があります。
その際は Windowsのサービス管理ツールから、停止をしてください。

- 原因 5：異なるアカウント権限でライセンスサービスを設定している

- 対処方法

- Windowsのサービス管理ツールを開きます。
- FieldViewのサービスを選択し、プロパティを開きます。
- ログオンタブでアカウントの方が選択されている場合は、ローカルシステムアカウントに切り替えて、適用を押します。

